

第 40 回協議会・第 46 回幹事会の議事要旨

沖縄県公共交通活性化推進協議会

令和 6 年 9 月 1 0 日（火）

1. 第 40 回協議会 議事要旨

日時：令和 6 年 3 月 26 日（火）10:00～12:00

場所：沖縄県教職員共済会館八汐荘屋良ホール

報告

(1) 第 39 回協議会・第 45 回幹事会の議事要旨について

発言者	主な指摘・意見	回答
委員長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	- 前回協議会で申し上げたことは、運転手不足による将来のバス路線への影響というより、運転手確保に努力をお願いしたいという主旨である。例えば工業高校等に運転手を養成する学科を創設するなど、運転手確保に向けた更なる対策をお願いしたい。 - 中乗り前降りは、乗降時間短縮には意味はあると感じるが、運転手には乗客が降車する際の注意義務もあり、安全確保の面に留意すべきだと考えている。 - 与儀から那覇高校前については、引き続きバス専用レーンを維持していただきたい。	(事務局) - 運転手不足の件では、運転手を養成する学科の創設について教育庁にも伝えているが、我々ができることとして、資料にある予測・分析を行ったところであり、2種免許取得支援についても今年度に引き続き次年度も実施したいと考えている。 - 中乗り前降りについては、安全性の確保や時間短縮効果、定時性確保への有効性などを含め、引き続きバス事業者勉強会の中でも確認させていただきたい。 - 当該区間は、今後車線が増える中で、バスレーンの効果や影響を確認した結果を報告させていただいたところであり、今後道路管理者や交通管理者で協議されるものと考えている。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄県 警察本部 亀谷委員 代理	● 与儀から那覇高校までのバスレーンについて、わかりやすい規制という観点からは、与儀方面から開南で一般車が左折できない形は好ましくないと感じている。 ● 最終形として開南から那覇高校まで4車線化された場合、その区間が現状のバス専用道路からバス専用レーンに変更するのであれば、第二通行帯に一般車が走行するため、朝ピーク時には那覇高校より先の渋滞が悪化し、バスの利便性は低下することは資料からも明らかである。 ● 那覇高校から那覇バスターミナルまでの4車線化拡幅がないのであれば、与儀から開南までの4車線化完了に合わせて案1'や案2を検討しても良いのではないか。 ● 案1'や案2も排除するのではなく、引き続き検討していただきたい。	(事務局) ● 開南から那覇高校間も事業区間のため、将来的には4車線化する予定であり、その際は現在のバス専用道路がバス専用レーンとなり、一般車が流入することになると考えている。今回は、そこに至るまでのタイムラグがあるため、与儀から開南までが4車線化した場合（開南から那覇高校は4車になっていない場合）のシミュレーションを実施したところである。 ● WTの中では、那覇高校から県庁南口までは停車帯も広いため、現在の幅員の中で3車線運用してバスレーンを導入できないかといった提案もしているところである。 ● 今回の検討は、将来的な基幹バスシステムの国道329号方面への導入も見据えれば重要と考えているところ。本区間については、今後県道路管理者（県土木建築部）と交通管理者間での協議における材料の一つになればと考えている。 ● 南部土木事務所とも引き続き話していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局開発建設部 坂井委員	● 国土交通省においては、WISENET2050 として、シームレスな交通ネットワークの形成に向け、これまでの枠組みを超えた政策展開を行っているところである。 ● 沖縄総合事務局においても、沖縄市と名護市において、結節点整備に向けた検討を進めているところであり、まちづくりの拠点をつくり交通ネットワークの利便性を向上させる役割があると考えており、公共交通とも連携して進めていきたいので宜しくお願いしたい。 ● 提案となるが、基幹バスシステムについては、バスレーンの整備といったハード整備などバスの定時速達性の確保につながる施策との一体的な展開が必要であると考えている。このためこれまでの机上の検討を続けるだけではなく、実際にバスレーンを運用してみる社会実験などを行いながら、検証を進めることも検討してみてはどうか。	(事務局) ● これまでバスレーン延長に向け PI 検討も進めようとしていたが、西普天間開発による影響を把握しておく必要もあることから、連携計画の工程も少し遅れ気味となっている。 ● ご提案いただいたバスレーンの社会実験も重要と承知しており、今後検討していきたいと考えている。

議事

(1) 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
委員長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

その他意見

発言者	主な指摘・意見	回答
那覇バス 鹿毛委員	バス事業者4社では、国からの支援と県の協力をいただき、明日からVISAタッチを導入させていただく予定である。まずはインバウンド対策として、高速バス、120系統など、観光利用が多いと思われる路線に実験的に導入する。明日の一番車から運用開始するので報告させていただく。	
沖縄総合 事務局運 輸部 星委員	- 公共交通利用率が高いのはインバウンドの方々であり、観光客が安心して利用できるサービスを提供いただきありがたいと思っている。 - 八重山地域においては、既に内航海運含めてクレジット決済が展開されているが、一つのサービスで移動できるようになると、これからの社会にも対応しやすくなるので、支援させていただきながら引き続き応援していきたい。	

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	● 路線バス無料化の社会実験については、税金を投入するので、社会実験の事前、事中、事後を通した効果計測は必ず実施していただきたい。 ● 今回利用者数の計測が整理券になることは構わないが、事前に系統別に整理券、OKICAでそれぞれ何人利用しているかといったデータを取り、事中や事後でどう変化しているかを捉えることは最低限必要ではないか。本来であれば朝、昼など時間帯で比較できることが望ましく、今からでも便ごとに整理券回収の袋を変えるなど、事前、事中、事後の計測はお願いしたい。このため、バス事業者にも協力をお願いしたい他、自動車交通のデータも含め、効果を説明できるよう準備をお願いしたい。 ● 中乗り前降りに関しては、本土では実施している事例は多くあり、沖縄でできない理由にはならないので、進めていただきたい。	(事務局) ● データ取得については、バス事業者とも連携して、事前・事中・事後を含めて可能な範囲で対応していきたい。 ● 中乗り前降りについては、いただいたご意見も踏まえながら、これからどう実現できるか勉強会の中で確認していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	- 北谷方面については現状琉大までバスを利用することは不便であるが、北谷方面からの学生数は少ないのではないか。また、現状では学生・教職員は大学周辺の徒歩圏に居住者が多いが、西普天間に移転すると車やバスで移動することになるため、様々な問題が生じることになると思う。 - 現在、大学がアンケート調査を実施しており年度明けてから報告があると思うので、そのデータの活用も可能だと思う。 - 総合病院の外来患者は基本的には減らす方向のようであるが、病院が移転すると中部医療圏となるので南部から外来は来ないのでないか。	(事務局) 西普天間関連については、データや医療圏なども踏まえながら、引き続き検討していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	● 運転手不足による将来予測・分析では、C区分は運行頻度が多いが利用者が少ないところなので、本来減らしても良いところではないか。A区分はサービス水準が高いためバスが選択枝になって利用されている可能性もあり、サービスレベルと利用者数については意識して分析する必要があるのではないか。 ● バスレーンによる速達性の向上は、運転手当たりの労働時間にも影響することから、運転手不足への対応にもなるのではないか。例えばバスレーンで運行時間が短縮されれば走行距離の増加が期待される。このため運転手1人当たりの輸送人員や道路環境改善によるサービスレベルも一つの指標として考えられるのではないか。	(事務局) ● 運転手不足を踏まえた将来予測・分析におけるバスレーンによる速達性向上の視点は、引き続き確認・検討していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局運輸部 星委員	● 運転手 1 人当たりの利用者数に関連するが、鉄道混雑率は鉄道の輸送力と輸送人員の関係でみて、これを適正にコントロールするようダイヤを組んでいるのが基本である。バスの場合は一人のドライバーがどれだけ運んでいるかという搭乗率を上げるようマネジメントしていく視点を持っていたくと有効な施策に繋がるのではないかと考えている。	
オフィス遊（公共交通利用者） 幸地委員	● SDGs、地球温暖化等踏まえると、企業が変わらないといけないと考えている。各家庭における送迎は、子どものことを考えて行っているのでは減らすのは難しいのではないかな。バスもクルマも痛み分けするなど、我々交通利用者も負の部分を受け入れることを真剣に考える時期が地球全体に来ているのではないかな。その流れの中で沖縄が何を指すのか、国、県、市町村、一般市民が考えるべき時期がきていると感じる。 ● スムーズに移動できるのは良いが、利便性以外の部分にも目を向け、他に良い部分がないかといった視点で考えていただきたい。	

以上

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	● 琉球バス交通、那覇バスは、この度の物価高騰等もあり運賃改定申請させていただき、3月1日に認可されたところである。 ● 一方で家庭の負担軽減のため通学定期の割引率はこれまでの41%から50%に拡大させていただく。4月1日から運賃改定を実施させていただくので、ご理解のほどよろしくお願いしたい。	
バリアフリーネットワーク 会議 (公共交通利用者) 親川委員	● 特別支援学校で約1万人の学生の他、小学校の特別クラスの子どももいる。これらの子どもは先々車の免許を取得できる子は少ないので、今後公共交通を頼っていかなくてはならない。 ● このため、路線バス無料化の社会実験も重要と考えるが、特別支援学校等の子どもたちにも乗車体験させて、公共交通を利用して外に出ていきやすい状況を理解してもらえよう取組をしていただきたい。	

2. 第46回幹事会 議事要旨

日時：令和6年9月3日（火）10:00～11:00

場所：那覇市商工会議所（中小企業振興会館）ホール

報告

(1) 第45回幹事会・第40回協議会の議事要旨について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

議題

(1) 令和5年度決算及び監査報告について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 沖縄県公共交通活性化推進協議会規約の改正（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

その他意見

発言者	主な指摘・意見	回答
宜野湾市 建設部長 又吉幹事	新規バス路線に関する取組で記載されている検討ルートイメージについて、南向きは西普天間地区内を経由できるが、北向きは伊佐を経由することになるので、表現は誤解のないようにお願いしたい。	(事務局) 誤解のない表現に修正させていただく。
沖縄県 土木建築部 道路街路課 與儀代理	西普天間交通対策の取組について、琉球大学はどのような取組を予定しているのか。	(事務局) 昨日開催された地域医療関係者会議では、琉球大学より①時差出勤制度の実施、②西普天間キャンパスへのバス乗り入れ要請、③西普天間キャンパス内の駐車場有料化、④外来患者来院の平準化・待合時間の短縮、⑤学生カリキュラムの検討が報告されている。

以上